

## 魅力ある県立高校づくりの推進に関する提言書

令和2年度から私立高校の授業料無償化が始まり、中学生の進路の選択肢は広がりました。一方、その影響を受け、県立高校では定員割れが生じています。大野市でも地元を離れ、福井市内の私立高校に通う生徒が増えています。

また、多くの私立高校が福井市に集中しており、今後もこの傾向が続けば、地域の高校生が減り、福井市の高校に集中することになります。県立高校は地域社会の維持・活性化に欠かせないものであることからその維持・活性化は急務です。

中学生の進路選択の自由は保障されなければなりません。県立高校も私立高校と対等に競える魅力を備えるためにも、県による財政的な支援に加え、既存の学校施設の有効活用や生徒の自主性・自立性を尊重する学校運営がなされることが不可欠です。

生徒に選ばれる魅力ある県立高校づくりの推進のため次の事項について提言します。

- 1 地域の持続可能な成長のためにも、地域から福井市内に高校生が流出するのを防ぐため、地域の県立高校への予算を優遇すること
- 2 「空き教室」を活用した自習室やカフェスペースを整備すること
- 3 1学期に1回は「スクール・ミーティング」と題した意見交換会を行う制度を創設すること
- 4 勉強や部活動、探究活動や資格試験など、最近の高校生は多忙であることから生徒が自由に活動できる放課後の時間を確保すること

令和4年8月4日

福井県知事 杉本達治様

福井県立大野高等学校  
チーム「TOUFU」  
小池麻由美  
中川千雅  
松田奈々  
松森羽奈